日本ＳＦ全集の収録作分布（長編・連作、短編の年度別分布）

		収録短編	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	備考
1	星新一	31				16	1	1			2	2	3	1	●	1	2	2																																				
2	小松左京	15									●				1	5		3	2	2	1	1																																
3	光瀬龍	14						1		3		●	1			4					2	1			2																													
4	眉村卓	20								1								●4	2	6	5	1			1	●																												
5	筒井康隆	33								4	1	●3	5	1	3				3	2	1	1	1	4		●1			1		●1					1																			
6	平井和正	16										7			1	●5		2	1																																			
7	豊田有恒	19									4	●	4	●1	2				3			1	3	1																														
8	福島正美	45								5	5	2	1	11		7			7		7																																	単行本出版年を作家デビュー年としている
9	矢野徹	9	1	1								●		2					5				●																			1												97年はアンソロジイ収録作
10	今日泊亜蘭	14					●												4			2	2				2																				4							03年はベスト選集
11	広瀬正	14													●	●		14																																				73年は、没後の出版
12	野田昌弘	25																		12	8								2							1				1					1									●	08年の長編は単行本化のなかったキャプテンフューチャーもの
13	石原藤夫	19										5	4		5		●			2				1			2																											
14	半村良	19														●3			●3		2	1		1	4												5																	92年は単行本未収録作の<半村良コレクション>
15	アンソロジー	11	1			2			●		1	1	3	1			●				1			●1																														長編は、『第四間氷期』、『街の博物誌』、『海からきたチフス』
		収録短編	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	備考
1	田中光二	8																	●2	2	●1	1		1																					1									01年はアンソロジイ『2001』収録作
2	山田正紀	1																		●	●	1		●																														
3	横田順彌	20																				8	2	4	1	3								●	2																			
4	川又千秋	9																				1					●	2	4	●		1					1																	評論家デビューは72年
5	かんべむさし	26																			5	2	3	1	5	8	1	1			●																							
6	堀晃	16																						5		7	4							●																				
7	荒巻義雄	16														1	●5				1	1			8																													
8	山尾悠子	19																		1		1	7		●3	4																			3									00年は作品集成
9	鈴木いづみ	26																				1	10				6		1													5						3					97、03年は未収録含む作品集
10	石川英輔	4																			●	1		●	1	1																	1										97年は<宇宙塵傑作選>
11	鏡明	6																			1	3					●2		●																									82年の長編は雑誌連載のみで未刊
12	梶尾真治	20																						5		6			3	5	●					1																		
		収録短編	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	04	05	06	07	08	備考
1	新井素子	5																					1		1	1	●			●			1													1									00年は、『チグリスとユーフラテス』の番外編
2	夢枕獏	11																						2	1					2	2		1	●1		1											1							
3	神林長平	8																								2		●2	2			1								●									1					
4	谷甲州	11																						1		●				2			4							●1			2							1			
5	高千穂遙	5																							1	1				1	●	●									1			1									
6	栗本薫	5																							1	1		●	3																								
7	田中芳樹	15																					1		1		●								●									13										98年は、初期短編集（全3巻）
8	清水義範	12																								2		●●			3	1	2	●		1		1	1			1											
9	笠井潔	9																									●	●								●			9														94年は、唯一の短編集『エディプスの市』
10	式貴士	26					1																	7	●6	7		5																										ミステリ作家としては62年デビュー、77年は「奇想天外」デビュー
11	森下一仁	20																							10	●			5	3			2			1	1	2	4															91-94年は未刊の連作短編
12	岬兄悟	5																								2	●	●		1	2				●																				
13	水見稜	13																								1	1	●1	●1		3	1	3	4																					短編2作は連作短編『マインド・イーター』に含む
14	火浦功	10																									●	3	1	2	●	2					2																	他に<未来放浪ガルディーン>ＣＤ付となっている
15	野阿梓	7																											2		●						1		1					1			2								
16	菊地秀行	4																									●	●	●				●	2	1	1																			
17	大原まり子	12																									2	●	2		1		3		1			1	●				●			2								94、97年は『戦争を演じた神々Ⅰ、Ⅱ』

デビューの年を示す。編集者や評論家・翻訳家の場合は小説発表年とする。以降、没年までハッチングされている部分を活動期間としているが、実質的に執筆していない年も含まれる。

● 収録されている長編、連作短編の発表年を示す。数字は収録された短編の数を示す。どの年の作品集から採られたかの目安となる。各短編の雑誌発表年ではなく、単行本発表年であることに注意。ただし、単行本未収録作は、その媒体の発表年となっている。

全集としてフォーカスしている範囲を示す。活動期間が長くても、ＳＦとして注目されない時期は除かれていることが分かる。

注）ここに記載されたデータは評者の調査範囲のものであるため、その責は評者が負うものです。